

令和7年度デジタル学習基盤を前提とした授業改善研修（第2回）

デジタル学習基盤を前提とした1人1台端末環境下における授業改善に必要な知識等を身に付けることを目的として、標記研修を実施しました。

- 1 対 象 県立学校・市立高等学校・市立特別支援学校の希望者
- 2 受 講 者 96名
- 3 日 時 令和7年7月3日（木）14:00～15:30
- 4 研修形態 オンライン
- 5 テーマ 授業と家庭学習の一体的充実
- 6 講 師 県教育庁高校教育課教育情報化推進室 副参事 伊藤 稔文
県教育庁高校教育課 指導主事（主幹）馬場 伸之
- 6 研修内容
 - （1）自立的学習者の育成について
 - （2）学習指導要領における「家庭学習」
 - （3）授業と家庭学習をつなぐ意義
 - （4）授業と家庭学習をつなぐパターン
 - （5）授業と家庭学習の一体的充実を実現している事例紹介

合衆中央 豊山高校 林野高校 精思高校 合衆工業高等学校

（※内訳あり）Zoomの画面も表示しています オプションも表示

これから目指すべき家庭学習

（1）授業時のやり残しへの対応

- 授業で1人1台端末を用いた学習活動
- 学習成果はクラウドにある
- 他の児童生徒の進捗状況やまとめ方が可視化される
- 児童生徒同士で学び方の異同を積極的に意識させる
- 取り入れた方がよいと判断した工夫は取り入れることを促す

（2）予習・復習

- 児童生徒に授業の予習・復習をすることが、授業時間が充実することを日頃から実感させる
- 1人1台端末からインターネット上の学習動画にアクセス可能
- Classroom等で事前に学習内容を指示
- 児童生徒が見通しを持ち、必要な情報を集めることができる
- 反転授業
- 授業中は話し合ったり内容を深めたりすることに時間を充てることができる

